

家庭用太陽熱利用システム普及加速化事業

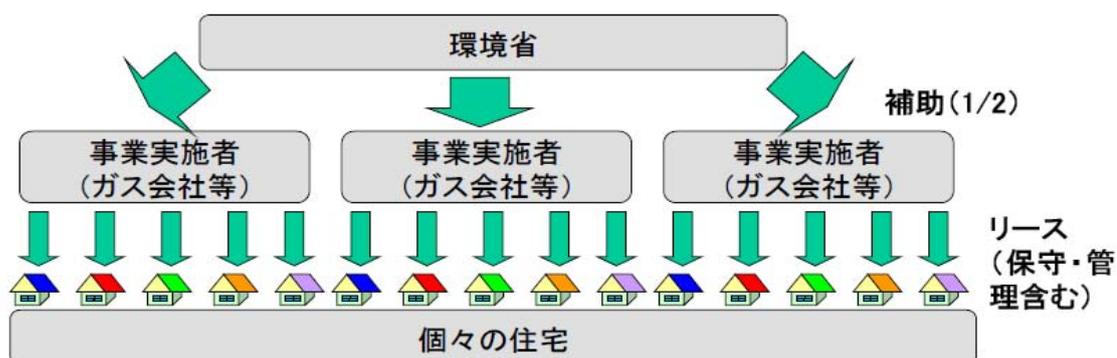
(1) 事業の概要

3,000 戸を対象に、家庭用太陽熱利用システムの設置を支援（補助）し、家庭部門の温暖化対策を促進する。

(2) 事業計画

1,000 戸 × 3 地域を想定

一般家庭に太陽熱利用システムのリース（保守・管理を含む）を行う事業者に対して、同システム（ ）の機器・工事費の 1 / 2 を補助することにより、リース料の低減を図る（ 補助熱源機器に要する費用を除く）



(3) 事業実施主体 環境省

) 補助対象者： 民間団体

) 補助率： 事業費の 1 / 2 を限度

(4) 予算額 1,500 百万円

家庭用太陽熱利用システム普及加速化事業

- 低炭素社会の実現のためにはトップランナー機器をリースし、サービスを買う社会スタイルに変革することが必要
- 特に適切なメンテナンスが必要な太陽熱利用システムの普及のためにはリース方式により利用者の安心を確保することが重要

設置からメンテナンスまで一貫したサービスを提供する事業者を支援

エネルギー変換効率が高い太陽熱利用システムの住宅への設置

リース方式によるビジネスモデルの普及拡大

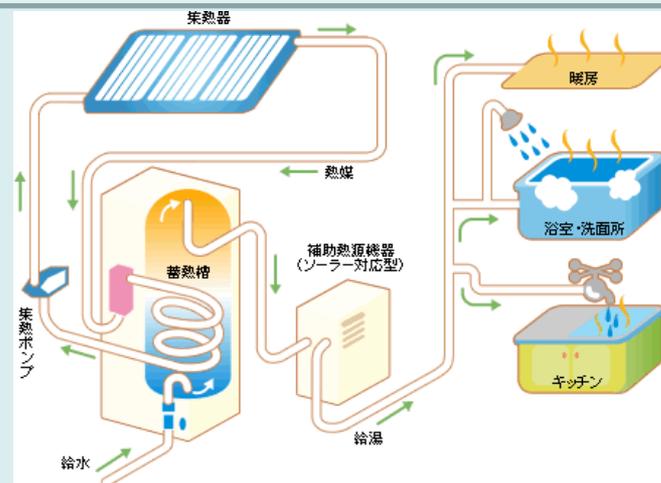
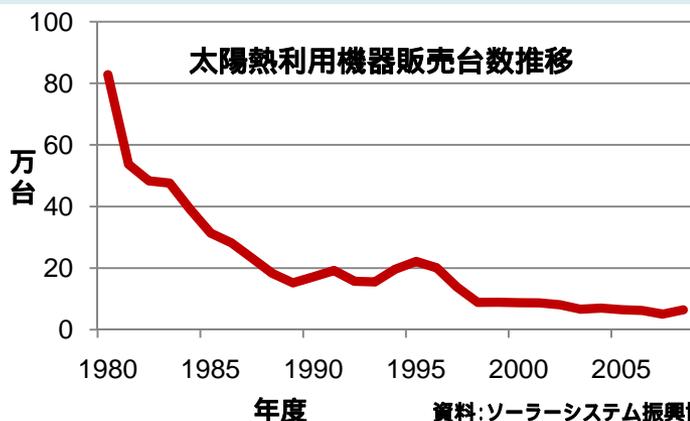
家庭部門のCO2排出量を1戸あたり約**14%削減**

(ガス事業者等)

・太陽熱利用は、エネルギー変換効率が40～60%と高い(太陽光発電は最高20%程度)

ヨーロッパ、中国等においては急速に導入が拡大

我が国における導入量の減少



住宅用太陽熱利用システム